

## 行政改革推進委員会（第3回）における主な意見等

## 1 プラン中の表記について

- ① プラン全体を通して、西暦と和暦の表記の仕方を統一した方が良いのではないか。
- ② RPAやAI-OCRなど、馴染みのない言葉については、最初に言葉が出てくるところで注釈やアスタリスクを付けて説明を加えた方が分かりやすいのではないか。  
また、説明を加えるのであれば、同じ形にするのではなく、6ページ記載のアスタリスクとあわせて、番号などを付けた方が良いのではないか。

## 2 パブリック・コメントの実施について

- ③ 今回の取組内容には、SNSやAIなどのインターネットやコンピュータ関係を使うものが多いが、それらをパブリック・コメントに利用していくなど、より意見をいただけるような方策を練って、市民に対して色々と発信していただきたい。

## 3 具体的な取組項目（全般）について

- ④ 取組を振り返る時の具体的な指標として、財政効果額というものがあるのかもしれないが、進捗を図る意味では、定量的な指標が必要だと思う。
- ⑤ 取組内容そのものより、実際に実行できるのかということに懸念があるので、行政改革担当課には、所管課がアウトカムを予測したり、担当者がモチベーションを持って自分たちがやっているのだと思えたりするようなコントロールをしていただきたい。

## 4 具体的な取組項目（方向性①）について

- ⑥ AIなどを使った省力化やサービスの向上というところでは、様々な課題が想定されるので、運用に向けては、そういったところにきちんと対応していく必要があると思う。
- ⑦ 今後は、AIなどを使ったサービスが主流になっていくと思われるので、却って混乱するということにならないよう、事例などを上手く取り込みながら普及を進めていただきたい。
- ⑧ 取組1の現状と課題の四角1つ目に「AIが対話形式で自動応答する」とあるが、システムの具体的なイメージが文章から掴めないのが、書き方を変えた方が良いのではないか。
- ⑨ AIを導入することによる効果や利便性といったところが、内容から見受けられない。導入することが目的化しているが、導入するシステムはツールであって、その後のことが重要である。
- ⑩ AIを導入することで、市民サービスの効果的・効率的な提供という「市民サービスのスマート化」の方向性が達成されるということが分かりにくい。
- ⑪ 取組1と2の項目名の両方に「AIを活用した」という文言が付いていて同じ取組に見えるので、もう少し切り分けて表現した方が分かりやすいと思う。

- ⑫ 取組2は、事務を最適化することが目的であって、そのためのツールとしてAIを使うという取組なので、項目名に「AIを活用した」という文言は入れなくても良いと思う。
- ⑬ AIを導入することで、保育所入所選考事務は最適化されると思うが、急な変更があった場合に、進捗状況の管理や方向性の転換といった対応が担当課に素早く出来るのかということに懸念がある。
- ⑭ マイナンバーカードを取得するとどうなるのかということがほとんど分かっていない状況なので、取得するとどういうメリットがあるのかということが、もう少し明確になると良いと思う。
- ⑮ マイナンバーカードの取得促進にあたって、結果を望むのであれば、「活用策の導入を検討」という取組内容だけでは緩いように思うので、何か切り込める取組があると良いと思う。
- ⑯ コンビニ交付の利用を促進するためにマイナンバーカードを取得させたいということであれば、現状と課題の最初にコンビニ交付の話を持ってきて、このためにカードの取得促進が必要だという文章にした方が分かりやすいと思う。

## 5 具体的な取組項目（方向性②）について

- ⑰ 情報システムのクラウド化を進めるにあたって、これからは情報漏洩や危機管理について、災害対策と同じくらいのレベルで考えていく必要があると思うので、そういったところも意識してくというようなニュアンスを文章に加えていただきたい。
- ⑱ 下水道への接続をいち早く完了させるということも、取組18につながる1つの方向性だと思うので、既に完了している市町から話を聞いて、進められることがあれば文章に加えていただきたい。

## 6 具体的な取組項目（方向性③）について

- ⑲ 取組21の現状と課題の四角4つ目に「SNSを活用した」とあるが、急にSNSが出てきてつながりが分かりにくいので、今までやってきた取組などがあれば、文章に加えると良いと思う。
- ⑳ 市民団体の交流でSNSを活用するとしているが、市内企業・大学等との連携推進の中でも活用する予定であれば、文章に加えると良いと思う。
- ㉑ ボランティアをしても、結果やアウトカムが団体まで伝わらず、やっていることが役に立っているのか、他の団体と一緒に活動した方がより効果があるのではないかというところが何も分からないので、もっと情報をいただきたい。